

ADV150

製品説明書



ADV150

はじめに

Hondaは、2017年にX-ADVを上市し“シティアドベンチャー”という新しい価値観を提案しました。市街地走行時の“便利な使い勝手”と、郊外の不整地などでの“高い走破性”をクロスオーバーすることで、市街地における移動から、郊外の遠出まで、シチュエーションを選ばない快適さを提供するとともに、スタイリッシュさと力強さをあわせ持つデザインを具現化した新カテゴリーモデルとして、お客様の支持をいただけてきました。

開発のねらい

“シティアドベンチャー”という価値観を、150ccのスクーターをベースとして具現化することにより、軽量、コンパクトなスクーターの利便性の高さはそのままに、アドベンチャー装備による外観の力強い個性を際立たせることで、平日の1日の中におけるON（日常の通勤や移動の利便性）とOFF（趣味の時間やアフターファイブの个性的な過ごし方）をクロスオーバーできる、余裕のあるライフスタイルを提案するモデルとしてADV150の開発に取り組みました。

開発のねらいは、

Beyond the Boundaries My Advanced Urban Explorer 限界を超えていく都会の冒険者

市街地の移動をスムーズに行えるコミューティングモデルとして。

何処までも行きたくなるアドベンチャーモデルとして。

自分らしい個性を表現しながら、やりたいコトを実現し、新しい経験をするためのアイテムとして、ADV150を提案します。

■ADV150（写真は海外仕様車）



ベネフィットと技術手段概要

スクーターモデルの魅力である、振動が少ない高い快適性や、多くの荷物の積載を可能とする利便性はそのままに、個性を際立たせるスタイリングと、行動範囲を広げるアドベンチャーコンセプトの融合により、趣味や非日常も楽しめる、余裕のあるライフスタイルの提供を目指しました。

その実現のため、以下を主な柱として開発に取り組みました。

●TPOを選ばないタフで洗練されたスタイリングと高い走破性

- ・タフでアクティブなアドベンチャースタイリング
- ・市街地の荒れた路面や、郊外の不整地路面など、さまざまな状況に対応するサスペンション/タイヤ/ライディングポジションの採用
- ・街中でも、長距離でも力強い走行を可能にする出力特性

●使い勝手の良さや快適性、安心感を高める魅力装備

- ・2段階可変スクリーン
- ・全灯火器のLED採用、液晶メーター
- ・スマートキーシステム
- ・ABSブレーキシステム+エマージェンシーストップシグナル

HondaはこのADV150を通じて、世界中のお客様に、“シティアドベンチャー”の魅力を体験していただけるよう、グローバル展開していきます。

■ADV150（写真は海外仕様車）



スタイリングのねらいは、

タフで洗練された外装と機能部品で構成された Urban Explorer Scooter

●デザインスケッチ

機能部品を車体センターに寄せて配置することで凝縮感を感じさせるボディーデザインとし、アクティブでどこにでも行けそうなアドベンチャーモデルの印象を与えています。

■イメージスケッチ（右サイド）



●ロゴデザイン

力強い“ADVENTURE”と、先進的で洗練された“ADVANCE”のイメージを両立させたロゴデザインとしました。

■立体ロゴデザイン



●ヘッドライト、フロントまわり

ブラックアウト処理を施したヘッドライトガードと、透明なウインドスクリーンによるソリッド感からもたらされる軽快感と、高いプロテクション性能を表現しています。

●テールランプ、リアまわり

テールランプにインナーレンズを採用することでライトの内側に浮かぶX型キャラクターの発光形状をより強調し、クロスオーバーコンセプトを表現しています。

コンパクトなセパレートタイプのウインカーとスリムなリアフェンダー形状とすることにより、軽量でアクティブなイメージを具現化しました。

■イメージスケッチ (フロントまわり)



■イメージスケッチ (リアまわり)



●メーター、ハンドルまわり

インジケーターを分離したフルLEDメーターと、テーパーバーハンドルの採用により、機能的で軽快なデザインを表現しています。

■イメージスケッチ (メーター、ハンドルまわり)



●マフラー

前後の長さを抑えたコンパクトなデザインにするとともに、マフラーエンドを高い位置に配置することで様々なシチュエーションにマッチしたタフなアドベンチャーテイストを表現しています。

■イメージスケッチ (マフラー)



●各機能部品

“タフ コンセプト”を演出する機能性と力強さを両立させる形状を目指しました。

■イメージスケッチ (スクリーンアジャスター)



■イメージスケッチ (スイングアーム)



●マット メテオライトブラウンメタリック

艶消し仕上げでブラウンをエレガントに表現した、タフイメージでありながら高品位なカラーリングです。



●ゲイエティーレッド

明るく情熱的なレッドの色調でアクティブなカラーリングです。



●マット ガンパウダーブラックメタリック

メタリックの輝きとマットの落ち着いたコンビネーションによりブラックの深みを増し、精悍で落ち着いたカラーリングです。



車体のねらい

ADV150 は日常の使い勝手の良さと、長距離走行における快適さに加え、アドベンチャーテイストを具現化する車体を開発しました。

車体のねらいは、

抑えきれない好奇心に応える、乗っているだけでアクティブになれる 何処にでも行きたくなるクロスオーバースクーター

●車体構成

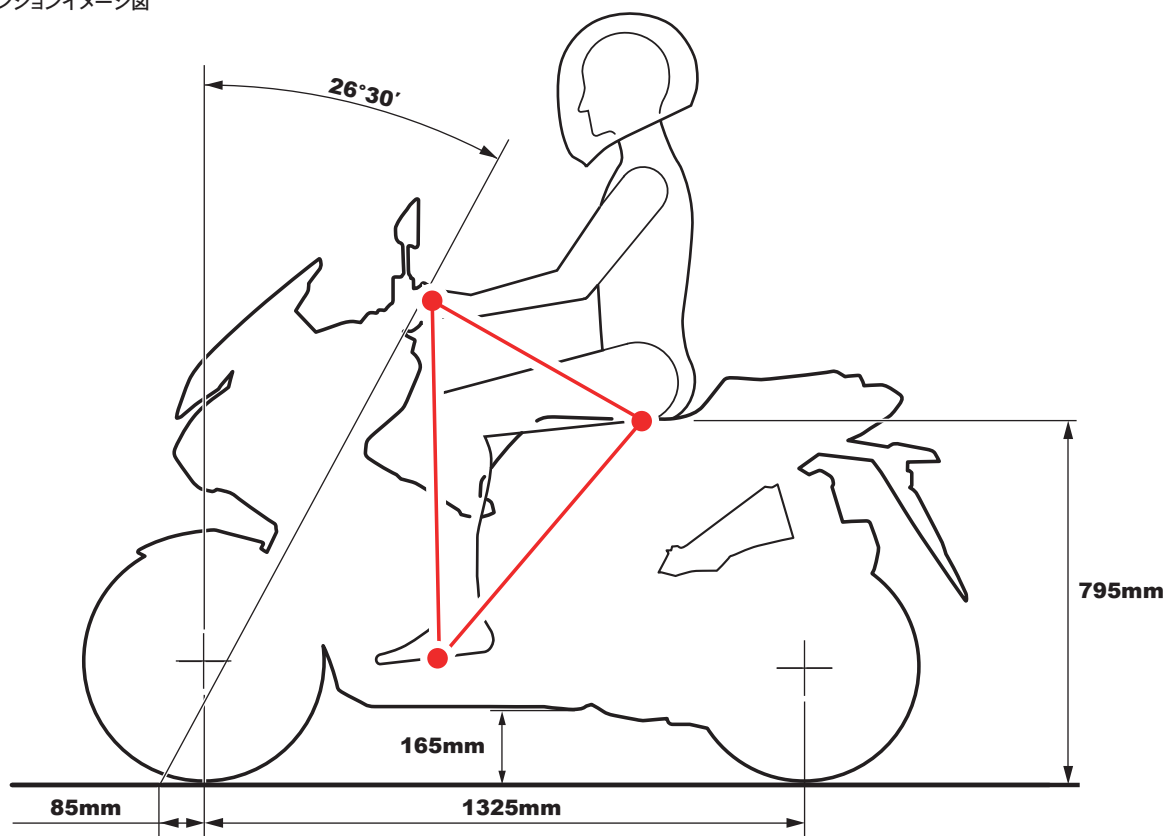
ユニットスイング式のエンジン懸架方式を採用することで、振動の少ない高い快適性を実現。

左右各46° のハンドル切れ角により、既存スクーター同等のとりまわしの良さを確保しています。

前後の長さを抑えた台形スタイリングによるマス集中と、アップライトなライディングポジション、そしてダブルクレドル構造で剛性バランスに優れた軽量コンパクトなフレームによって得られた軽快な操縦性と、795mmのシート高による、見通しの良い高いアイポイントで、渋滞などでもさらに先を見渡しなが、余裕のある走行を可能とします。

また、街中の凹凸の多い路面も考慮した、165mmの最低地上高を確保しています。

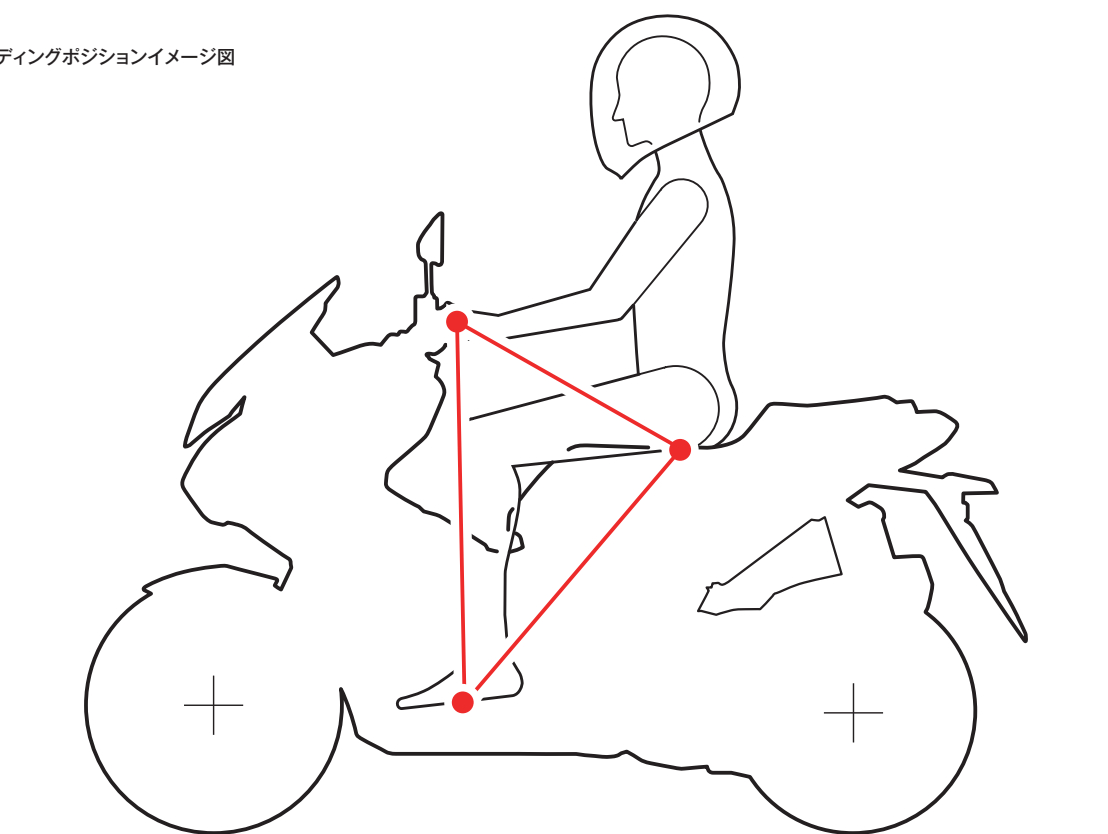
■ディメンションイメージ図



●ライディングポジション

見通しの良い高いアイポイントを実現するためにシート高を795mmに設定。幅広いシチュエーションで自由度の高い上半身を立てたライディングポジションとなるようハンドル、シート、フロアステップの三角形を配置し、長距離移動における身体的疲労軽減に寄与しています。また、シートやフロアステップの脚の当たる面を絞り込んだ形状とすることで、既存スクーター同等レベルの足着き性、日常の使い勝手を確保しています。

■ライディングポジションイメージ図



■シート、フロア形状俯瞰 (写真は海外仕様車)



●リジットマウントテーパーバーハンドル

幅広でありながら高剛性なリジットマウント式テーパーバーハンドルを採用。

ライダーの入力をダイレクトに車体へ伝え、俊敏なコントロールを可能とするとともに、路面からのフィードバックを的確にライダーに伝えることで車体との一体感を高めます。クランプ部はφ28.6mmのファットバー形状とし、タフでアクティブなデザインを表現するとともに高い剛性を実現しています。

■ハンドルまわり(写真は海外仕様車)



●2段階可変スクリーン

爽快な風を感じたい街中から、防風性能を求める高速度域での長距離移動まで、さまざまなシチュエーションに適した防風性能を確保するため、スクリーンは2段階の高さ調整が可能な可動式としました。

新開発のスライドロック機構により、工具を使用せず、簡単にスピーディーな操作を実現しながら71mmの高さ変更を可能としています。

LOWポジションでは胸の高さまで風の流線を下げること、爽快地に風を感じることに寄与します。HIGHポジションにおいては上半身を包むように風の流線をコントロールし、長距離走行での疲れを低減します。

■フロントスクリーン(写真は海外仕様車)

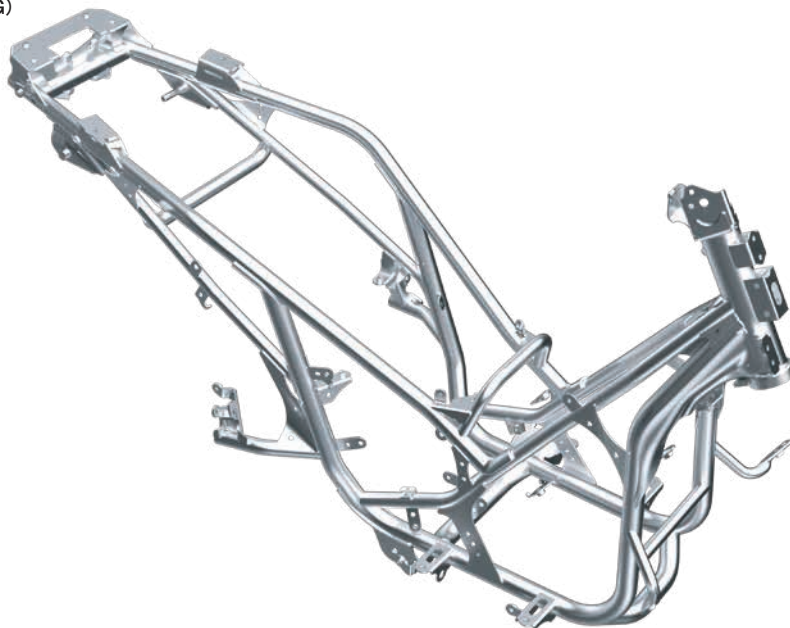


●フレーム

軽量コンパクトで使い勝手の良いPCX150のフレームをベースとし、普段使いの快適性はそのままに、サスペンションストロークを伸ばした足まわりとの剛性バランスの最適化を図っています。

シートレール後端のクロスメンバーを専用設計とし、シャープでスタイリッシュな外観を実現しました。

■フレーム(イメージCG)



●シート下ラゲッジボックス、ACCソケット付インナーボックス

ラゲッジボックスの容量は27Lとし、日常の使い勝手から長距離のツーリングまで多様な荷物の積載を可能としています。また、フルフェイスヘルメット1個*の収納を可能としています。

ACCソケット付インナーボックスは2Lの容量を確保し、小物の収納などの利便性を向上しています。

※ヘルメットのサイズや形状によっては収納できない場合があります。

■ラゲッジボックス(写真は海外仕様車)



足まわりのねらい

足まわりは専用設計とし、市街地を快適に駆け抜けるだけでなく、未知の世界へ好奇心のままに進みたくなる、高い走破性を実現。クラスを超えた存在感の演出にも寄与しています。

足まわりのねらいは、

何処にでも行きたくなる。タフで強靱な機能装備の具現化

●フロントサスペンション

130mmストロークの正立タイプを採用。クラス最長※¹のストローク量を確保することで街中の凹凸などにおいてワンランク上※²の上質な乗り心地を提供します。

※1. Honda調べ。2019年12月時点。(150ccスクータークラスにおいて)

※2. 従来のHonda150ccスクータークラスとの比較。

■フロントサスペンション



●リアサスペンション

120mmストロークのリザーバートank付を採用し、安定した減衰力を発生。3段レートのスプリングによるプログレッシブな荷重特性と相まって、二人乗りのシチュエーションや、荒れた路面などの走行時にも路面追従性に優れた快適な乗り心地を提供します。

■リアサスペンション(写真は海外仕様車)



●ホイール

新開発のホイールはフロント12本、リア10本スポークを採用。軽快なデザインを実現すると共に、スポークの間隔を狭く設定し、リムからアクスルへ伝わる荷重の変化をより均一にすることで、路面インフォメーションの向上と、ライダーの操作を車体挙動へダイレクトに伝える俊敏性の向上に寄与しています。

●ブレーキシステム

ブレーキは前φ240mm、後φ220mmのウェーブディスクを採用。同じ外径の円形状ディスクと比較し軽量で、バネ下重量の軽減に寄与するとともに、波状のエッジによりパッドの汚れや、雨などで付着した水を掻き出す効果があります。

ABS※はフロントのみが作動する1チャンネルABSを設定しました。様々な路面で制動時の安心感を高めています。

※ABSはライダーのブレーキ操作を補助するシステムです。ABSを装備していない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは対応できません。ABS作動時は、キックバック(揺り戻し)によってシステム作動を知らせます。



■フロントブレーキ



■リアブレーキ(写真は海外仕様車)

●タイヤ

ブロックパターンのチューブレスタイヤを専用開発しました。ブロックパターンにより市街地での不意な路面の変化にも安心感を与え、未舗装路や荒れた路面での走破性を高めています。サイズはフロント110/80-14、リア130/70-13とし、タフなルックスを表現するとともに、太いトレッド幅と豊富なエアボリュームによって、リニアなハンドリング性能と快適な乗り心地に貢献しています。



■フロントタイヤ(写真は海外仕様車)



■リアタイヤ(写真は海外仕様車)

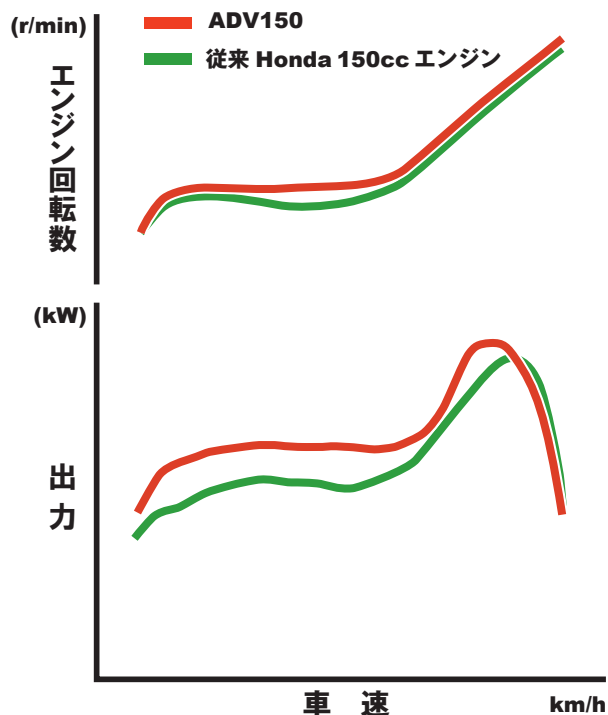
パワーユニットは街中から高速度域まで扱いやすく、PCX150に採用されたエンジン“eSP”※をベースとしています。さらなる低速走行時の力強さや、荒れた路面での扱いやすさの向上を実現するために、吸排気系の最適化を図り、低～中回転域のトルクを向上しました。また、停車後自動的にエンジンを停止し、発進時はスロットル操作だけでスムーズに再始動するアイドリングストップ・システムを採用することで高い環境性能と静粛性を実現しています。

※ enhanced(強化された) Smart(洗練された、精密で高感度な) Power(動力、エンジン)の略で、低燃費技術やACGスターターなどの先進技術を採用し、環境性能と動力性能を高めたスクーター用エンジンの総称です。

●出力特性

低回転域の力強さを向上しながら、高回転域における伸びのある特性を実現しています。

■出力特性イメージ図



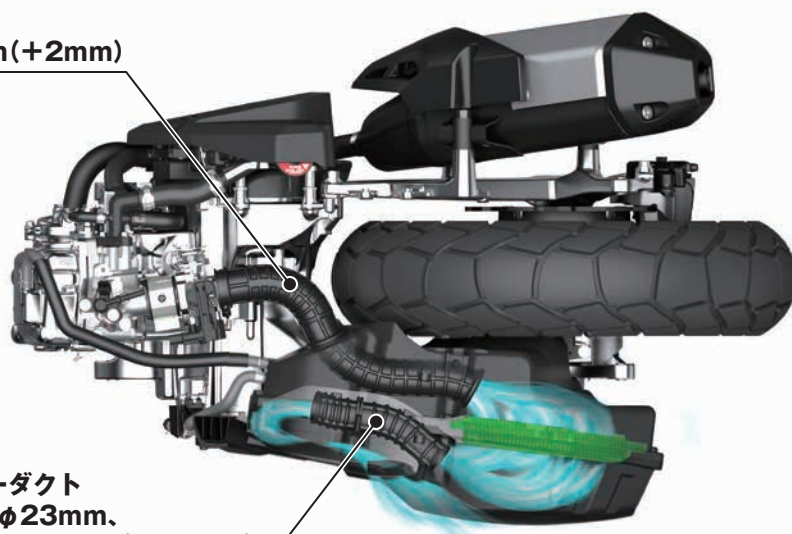
●吸気系

吸気管を専用設計し、PCX150に対しエアクリーナーダクトを21mm、コネクティングチューブを2mm長くすることで、低～中回転域のトルクの向上を実現しています。

■吸気系形状イメージ図

コネクティングチューブ
長さ322mm⇒324mm(+2mm)

エアクリーナーダクト
径φ28mm⇒φ23mm、
長さ135mm⇒156mm(+21mm)



●排気系

マフラーは新設計のハイアップ形状とし、さまざまな路面、シチュエーションでの走破性を高めています。内部パイプの構造、キャタライザーの配置を最適化することで、低速の扱いやすさと高速域での伸びのある走りを両立し、高い環境性能※を実現しています。

※ 平成28年度排出ガス規制を達成。

■マフラー内部構造(イメージCG)



●駆動系

駆動系は低～中回転域におけるスロットル操作にダイレクトに応答する加速特性を得る為、ウエイトローラーのセッティングと、ドリブンフェイスプリングのインストール荷重を変更しました。これらにより、変速タイミングと過渡特性を最適化し、リニアなトルクの立ち上がり特性と、力強い加速感を実現しました。

■駆動系内部構造図(イメージCG)



電装のねらい

ADV150には、先進的な電装装備を採用することで、市街地から、タフなアドベンチャー走行まで、シチュエーションを選ばない快適性と機能性を実現しました。

電装のねらいは、

“シティアドベンチャー”コンセプトを 体感出来る機能部品としての外観と性能

●灯火器

灯火器を全てLED化し、軽量コンパクト化と省電力化を図っています。

◦ヘッドライト

ヘッドライトは新設計を行い、シャープなデザインを実現。LEDを採用することで軽量、コンパクトな灯体とし、マス集中化に寄与するとともに、十分な光量を確保、遠くまで鮮明に照らします。

■ヘッドライト(点灯/ロービーム)



■ヘッドライト(点灯/ハイビーム)



◦テールランプ

テールランプはコンパクトな灯体を新設計し、ウインカーを別体化。ヘッドライトとともに、完成車の重心位置から遠いところにある灯火器の小型化、軽量化により、マス集中化を図ることで、車体慣性の低減に寄与しています。

常時点灯のテールランプはX型キャラクターの発光形状としクロスオーバーのコンセプトを表現するとともに、力強い個性と存在感を高めています。

■テールランプ(点灯)



■ストップランプ(点灯)



●多機能スピードメーターと別体インジケーター

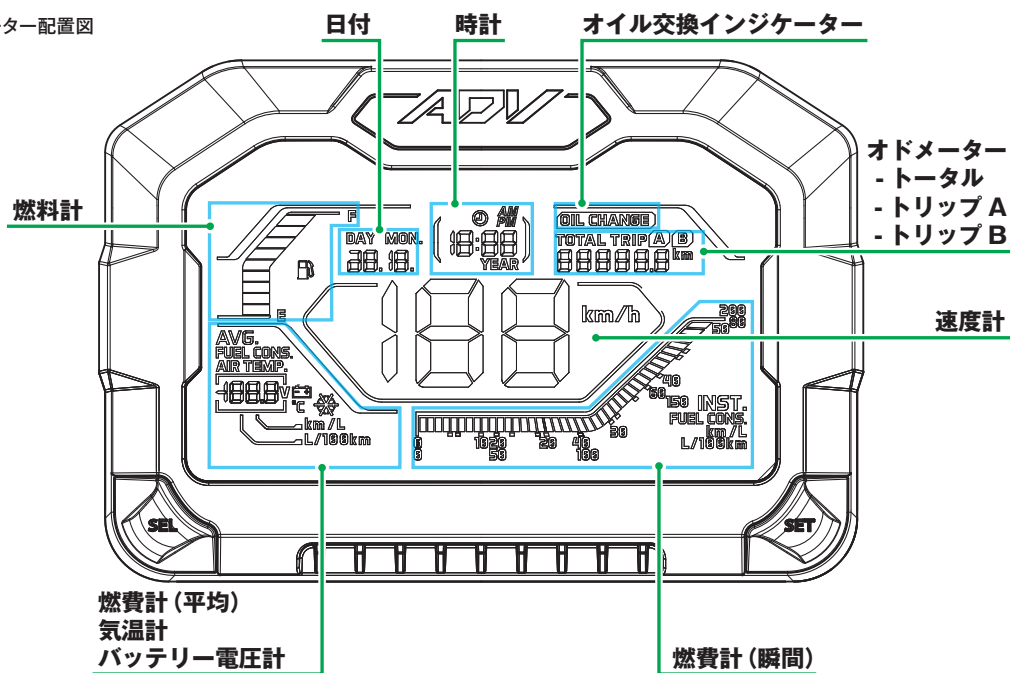
より多くの情報を表示できるスクエア形状のメーターを採用しました。

各種インジケーターをスピードメーターとは別体のセパレートメーターに集約することで、コンパクトでありながら多くの情報の表示を可能とし、視認性を高めました。

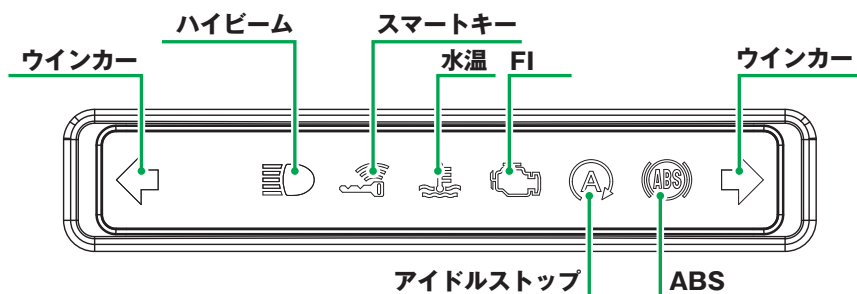


■メータービュー (写真は海外仕様車)

■スピードメーター配置図



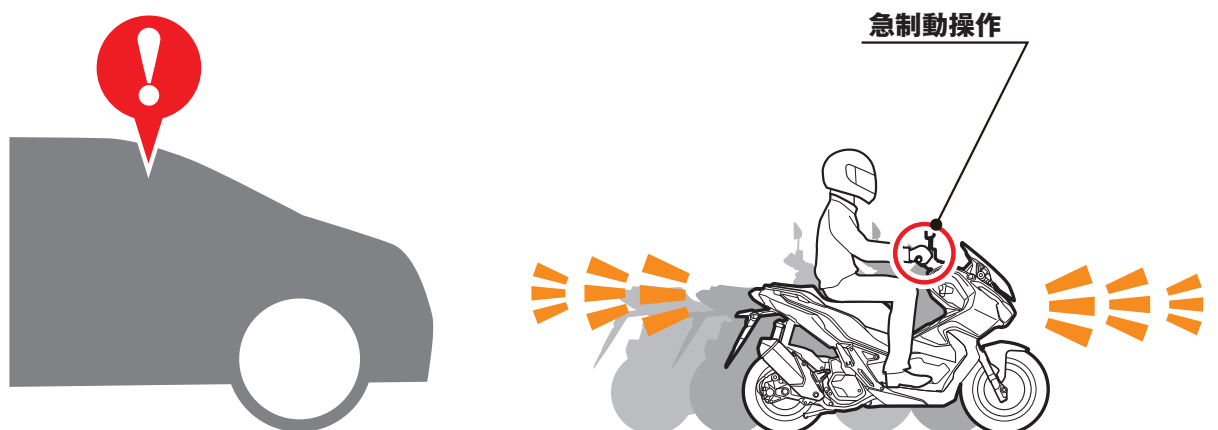
■セパレートメーター配置図



●エマージェンシーストップシグナル

急ブレーキをいち早く後続車に伝える機能であるエマージェンシーストップシグナルを採用しています。ABSモジュレーターが走行している時の急ブレーキを判定し、その情報を受け取ったウインカーリレーがハザードランプを高速点滅することで後続車などに注意を促します。

■エマージェンシーストップシグナル作動イメージ図



●Honda SMART Keyシステム

スマートキーを携帯して車両に近づき、メインスイッチノブを回すことで、キー操作なしのスマートなエンジン始動を可能とします。

また、盗難抑止機構として、メインスイッチノブは内蔵されたクラッチ機構により空回りすることで、無理な力でのハンドルロック解除を防ぎます。メインスイッチノブ横のシーソー式スイッチにより、シートとフューエルリッドの開錠操作が行えます。

スマートキーには、オーナーが車両のそばにいる時に、他の人によるメインスイッチノブの操作を無効とするHonda SMART KeyシステムのON/OFFスイッチと、車両のウインカーを点滅させて自車の位置を知らせるアンサーバックスイッチを装備しています。



■メインスイッチ (写真は海外仕様車)



■スマートキー

日常における利便性の高さと、長距離移動のプレジャーを両立し、所有する満足感をさらに高めるオプションパーツを用意しました。ADV150開発チームによる同時開発により、機能性のもとより、車体との高いマッチングを図っています。



リアキャリア

許容積載量: 8kg サイズ: 451 (長さ) × 385 (前幅) × 204 (後幅) mm
材質: スチール カラー: マットアクシスグレーメタリック
※リアキャリア装着時、ハンドルウエイトを必ず同梱品に交換してください。



トップボックス 35L (ワン・キー・システムタイプ)

車両本体のキーで開閉が可能。フルフェイスヘルメットを1個収納可能です。

許容積載量: 3.0kg サイズ: 472 (長さ) × 480 (幅) × 300 (高さ) mm
容量: 約35L カラー: ブラック

※ヘルメットは形状によっては収納できません。

※貴重品を入れたままにしないでください。

※取り付けには別売のキーシリンダーセットとトップボックス取付ベースが必要です。



グリップヒーター (左右セット)

発熱体に合金ステンレス鋼 (SUS) を採用した、Honda独自の半周タイプグリップヒーターです。バッテリー電圧監視システムを内蔵し、電圧が低下した際にはグリップヒーターへの電源供給を自動的に中止します。

※走行時の天候状況により温度差が出る場合があります。

※使用する時は手袋を着用してください。



アラーム

センサーが振動を検知すると警告音が鳴る盗難抑止機構です。

※別売のインジケーターステップを接続すると効果的です。

インジケーターステップ

システムの作動状態をインジケーターステップで表示します。



Honda 二輪ETC2.0車載器キット (アンテナ別体タイプ)

取付アタッチメント同梱 (車載器本体、アンテナ、表示器)

※取付費用とセットアップ費用が必要となります。

※決済用のETCカードが必要です。

※Honda二輪車ETC車載器セットアップ店様のみでの取り扱いとなります。

■アクセサリの内容は2019年12月現在のものです。

主要諸元



ADV150 主要諸元		ADV150
車名・型式		ホンダ・2BK-KF38
全長/全幅/全高(mm)		1,960/760/1,150
軸距(mm)		1,325
最低地上高(mm)★		165
シート高(mm)★		795
車両重量(kg)		134
乗車定員(人)		2
燃料消費率*1 (km/L)	国土交通省届出値:定地燃費値*2 (km/h)	54.5 (60)〈2名乗車時〉
	WMTCモード値★(クラス)*3	44.1(クラス2-1)〈1名乗車時〉
最小回転半径(m)		1.9
エンジン型式・種類		KF38E・水冷4ストロークOHC単気筒
総排気量 (cm ³)		149
内径×行程(mm)		57.3×57.9
圧縮比★		10.6
最高出力(kW[PS])/rpm)		11[15]/8,500
最大トルク(N・m[kgf・m])/rpm)		14[1.4]/6,500
始動方式★		セルフ式
燃料供給装置形式		電子式〈電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)〉
点火装置形式★		フルトランジスタ式バッテリー点火
燃料タンク容量(L)		8.0
変速機形式		無段変速式(Vマチック)
タイヤ	前	110/80-14M/C 53P
	後	130/70-13M/C 57P
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	ユニットスイング式
フレーム形式		ダブルクレードル

■道路運送車両法による型式認定申請書数値(★の項目はHonda公表諸元) ■製造事業者/Thai Honda Manufacturing Co., Ltd.
 ■製造国/タイ ■輸入事業者/本田技研工業株式会社

- * 1. 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。
 * 2. 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。
 * 3. WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

燃料消費率の表示について

WMTCモード測定法で排出ガス試験を行い型式申請した機種は従来の「定地燃費値」に加え、「WMTCモード値」を記載しています。エンジンや排出ガス浄化システムなどが同じシリーズ機種においては、定地燃費値が異なってもWMTCモード値が同一の場合があります。これは、型式申請時の排出ガス試験においては、排出ガス中の規制物質の排出量が多量な機種により試験を行い届け出をしており、この試験結果にもとづきWMTCモード値を計算し、シリーズ機種それぞれのWMTCモード値としているためです。
 WMTCモード値については、日本自動車工業会ホームページ (<http://www.jama.or.jp/motorcycle/>) もご参照ください。

※本仕様は予告なく変更する場合があります。※写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。
 ※ADV、Honda SMART Key、PGM-FIは本田技研工業株式会社の登録商標です。